

2014.1.28
黒崎市民会館

西 区

西区自治協議会まちづくりワークショップのまとめ

新潟市西区自治協議会

まとめ:特定非営利活動法人まちづくり学校

西区自治協議会まちづくりワークショップ

実施概要



日時：2014年1月28日(火) 13:30~14:50

会場：黒崎市民会館 1階 大ホール

主催：西区地域課、政策調整課

コーディネート：NPO 法人 まちづくり学校
伊藤明世、安田文子

当日のプログラム

時間	内容
13:30	オープニング(主催者挨拶)
13:35	区ビジョン点検シートの説明
13:45	質疑応答
13:50	ワークショップの手順説明
13:55	グループ内での各取り組み評価(意見出し)
14:25	目標についての意見整理
14:35	全体確認
14:50	終了

当日のワークショップ風景



1

すべての区民にやさしいまちづくり

グループ：① 長谷川イミ、加藤惇一、村井良次、宗村瑞枝

目標の改善案

(修正案) 変更なし

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

福祉に配慮したまちづくりに対する評価

○障がい者や高齢者などと具体的にはっきり言葉としてだしてもらったことはありがたい。

○高齢化の進行が早く地域の力がついていけない。

○子どもが出て行って2人きりなので、老後は不安。

○高齢者の居場所をもっとつくってほしい。

子ども達の安全と心を育てる環境づくりに対する評価

○親子の居場所がどのように立ち上がったかわからない。

全体評価

○防災訓練が各地域で増えた。

○コミ協に対する補助金が少ない。(自治会含む)

○活動補助金が年度初めに集中したのは困った。

○自治協活動が発足当時より低下している？

○自治会、コミ協は地域によって違うので、良い所はすごくいいと思うけど、子どもが学校卒業すると自治会とかから離れてしまう。

今後何をして行ったら良いか

○障がい者、高齢者、子どもといった弱い立場の人が安心して暮らせる西区にして欲しい。

○民生委員エリアでの集まる場所づくり。

○老人会の活性化。

○自治会館を利用して高齢者の居場所開設。

○情報提供。(居場所事業の周知)

○行政で困り事を相談できる場所をつくってほしい。

○幅広い交流が地域であってほしい。(現役世代などの中間年齢者)

○各居場所などを使い、虐待予防事業。

2 都市と農村の共存

グループ：② 齋藤敏夫、玉野寛、酢山省三、西條和佳子、内田亨

目標の改善案

(修正案)・都市と農村の融合

農業を活かしたまちづくり。融合をキーワードにする。

・農業を活かしたまちづくり

共存は静的なイメージなので、「交流」などダイナミック（動的）な言葉にかえる。

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

地場農産物と食育の推進に対する評価

- 農業まつりは成果が目に見える取組みであった。
- 子どもの農への取組みは学校で浸透している。
- 内野のイモジェンヌ、黒埼の茶豆を使用した食品はマスコミも取り上げて関心も高まった。
- 山田小学校では、茶まめ農家の苦労話や農業のやりがいなどを子ども達に教えている。

特産物の進行とPRに対する評価

- 農業まつり、大根まつり（情報大）、すいかまつり（メイワサンピア）は、地元赤塚の住民との触れ合いが良かった。
- すいか祭りは、悪天候にも関わらず数千人参加。盛大のうちに終了。
- 大根まつりは、大学の学園祭とタイアップし、双方にメリットがあった。
- すいかまつりですいかの味見ができた。
- すいかまつりのステージイベントを多く実施した方が楽しめる。
- 茶豆まつりは、枝豆の袋詰めイベントに多くの人参加した。

- すいかまつりは大雨だったので、雨やどりする場など、雨対策をしっかりとしてほしい。
- 黒埼茶豆まつりは、出店の状況がバラバラでまとまりが無かった。

商工業の振興に対する評価

- 商店街活性化への取組が感じられない。
- 黒埼の大野商店街の衰退が目立つ。何か対策が無いのか。
- 店主の跡継ぎがない事も商店街の活性化に結びつかない理由の一つ。
- 内野・黒埼地区の市街地の活性化意識（商店）が少ない。（グループ④⑤）

全体評価

- なにをもって農村と言ひ、都市と言うのか？
- 大人は西区を農村と思っていないのでは？
- 区の中の農業人口や割合など、基本の姿が分からない。
- 何がなされたのか、区民によく伝わっていない。
- 催し物が充分行きわたっていない。
- 集合住宅に、市の広報紙等が来ない場合がある。
- 農業の跡継ぎがない。
- 農家は存続できるのか。支援策が不足しているのではないか。
- 区の施策が農家の役に立っているのか、本当のところ分からない。

今後何をして行ったら良いか

- すいかまつりの開催時間をもう少し長くできないか。
- 黒埼茶豆まつりは、出店の並びをまとめた方が良い。出店の並びの再考。
- 各農業まつりと連携したミニツアーの実施。
- 紅はるかの焼き芋大会の開催ができないか。
- 農村部（南・西蒲区）と都市部（中央区）との結節点になる。（他区との連携）
- 広報のデリバリー（配布）の徹底。配布する人の雇用。（高齢者等の見守りを兼ねて）
- 雷魚、鯉、ウナギなど佐潟の食材、日本海の食材を活用する。
- 佐潟とのふれ合い、潟舟体験で湖水植物を学ぶイベントの実施。
- 水ダコのPR。新川漁港に水揚げされる水ダコを内野の料理屋で食するイベントを春に実施する。
- 地場産業物産市の場所を定期的に変更したら。小針地区での開催。野球場 etc（グループ④⑤）

3

学術と文化のまちづくりの推進

グループ：③ 大谷一男、丹羽礼子、石丸幸子

目標の改善案

(修正案) 西区地域大学の創立

だれもがいつでも学べて、だれもが教え合える環境づくりを目指してほしい。

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

学官・地域住民が一体になった生涯学習活動に対する評価

- うちの de アートに参加できてよかった。
- 自治協の第1回アートフェスティバルの成功は西区の住民のアートの力を十分示す事ができた。(グループ:②)

- アートプロジェクトなどは大学からもっと働きかけてもらいたい。
- 文化以外でも大学教員の活用。
- 産学共同の商品をつくってほしい。

文化財を集約した施設整備に対する評価

- 文化財センターの設置。
- 文化財センターができたこと。

- 文化財センターにまだ行っていない。

コミ協・学校・社会教育団体・住民連携の教育活動に対する評価

- 中学にコーディネーターが入ってつながりができた。
- 地域教育コーディネーターの配置。
- 地域教育コーディネーターが各校に配置された。

- 地域学などの団体の人材リストがあるといい。(子どもにも大人にも活用できるように)
- 地域教育コーディネーターの活性化に学校側(教職員)は協力してないのでは。

全体評価

- 西区(坂井輪)図書館が拡大・整備される。
- 稚児舞が復活した。
- 大野甚句が復活した。
- 大学がいろんなプロジェクトに参加をしてくれるので良いのではないかな。

- 児童数の減少。
- 各事業で何がやられているかわからない。
- 新興のまちでは足並みがそろわない。
- 地域ごとの文化・スポーツ振興をできるように。
- 西区のみどころ各所がまだ知られていない。(新川ほとりの寺、赤塚の街道、木場)
- 区役所分館(公民館・図書館等)の耐震補強が行われても10年しかもたない。その後どうするかについて検討する必要がある。(グループ④⑤)

今後何をして行ったら良いか

- 大学の研究者名簿を活用していく。
- 大学からの双方向の売り込みを促す。
- 佐潟や北国街道の文化をアピール。
- 発表の場をもっと広げる。

4 自然環境の保全と活用

グループ：④⑤ 岩脇正之、富岡照子、長谷川洸、福島富、山田昌夫

目標の改善案

(修正案) 変更なし

これまでの取り組み評価

プラスの評価

- 西川の環境は良くなっている。
- 保安林保全に対する担当課の取り組みが積極的。
今後の環境整備に期待したい。

マイナスの評価

- 西海岸保安林の整備がボランティアに依存が大きく、行政の姿が見えない。
- 保安林の保全は県の事業とあるが、新潟市も積極的に県と調整し、市の事業として考えて欲しい。(県まかせになっている感じがする)

全体評価

今後何をして行ったら良いか

- 西区の保安林整備の歴史を整理しまとめること。昭和50年代には県が保安林用地を買い上げ整備した。
- 緑が少ない、増やす。(特に樹木 etc)
- 佐潟のPRが少ない。(全市的に)ツアー企画等。
- 地域(コミ協)と県と新潟市で協働して保安林整備に取り組んで行く方向を考えると良いのでは。
- 保安林に接している自治会とコミ協で防飛砂林の機能増進を検討してはどうか。(グループ②)

5 快適な住環境

グループ：④⑤ 岩脇正之、富岡照子、長谷川洌、福島富、山田昌夫

目標の改善案

(修正案) 変更なし

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

黒埼運動公園・赤塚公園整備に対する評価

○運動公園をもっと街の中心につくってほしかった。

区民協働による地域の防災力を推進したことに対する評価

○防災対策は浸水対策ばかりではなく、火災等も想定される新潟市の防災に対する取り組み方針基本が見えない。

全体評価

○通学路の整備が進まず。

今後何をして行ったら良いか

- 防災について、地域(コミ協)と小中学校との協働・調整が必要。保育施設も同じ。
- 小針地区に防災避難公園が必要。(球場周辺に敷地も確保してほしい)
- 自治会～コミ協～行政との防災に対する役割分担を今後考えるべき。
- 地域により防災意識の格差がある。危機意識の向上が必要。
- 避難場所をもっと広く伝える。わかりやすい場所にする。
- 弱者との連絡体制を確立させる。
- 津波浸水想定はいつまでも県に振りまわされないで、新潟市独自に進める。当面緊急的な対策のいる地域の全てで避難マップをつくる。
- 区(坂井輪、内野、黒埼)で区主催の合同防災訓練が必要。
- 住宅地域を東西に流れる西川や、民家と接する河川敷の除草・樹木の伐採の実施。
- 電鉄線の跡地の整備。
- みどりの公園での大規模催事に弁当販売をしたらどうか。

6 交通の利便性の向上

グループ：⑥ 松井建吾、真嶋民雄、近藤武雄、佐野貞之

目標の改善案

(修正案) 変更なし

大切な目標なので、無くすことはできないため、このままで良い。

これまでの取り組み評価

プラスの評価

マイナスの評価

全体評価

<ul style="list-style-type: none"> ○寺尾線(区役所前)の車線整備などの渋滞対策は効果的だった。 ○Qバス土日・祝日増便の試験運行開始。 ○越後線の増便。 	<ul style="list-style-type: none"> ○寺尾線(区役所から産業道路)の信号機に係る警察・JRとの調整。 ○国道116号線(曾根IC～巻方面)の拡幅整備。 ○西区バス、Qバス、コミュニティバスの運営について区別がつかない。理解できない。 ○バスの利用を促進しても、そもそもバス停まで遠い。 ○年配者のタクシー利用の促進。 ○新潟交通電鉄線跡の自転車道・歩道の整備。山田小学校グランド周りと校舎との間に電車道。 ○越後線の日中の増便は実施時間帯が利用者のニーズに似合わないのでは。 ○小針十字路の渋滞が解消できなかった。(④⑤グループ) ○西大通を中心に南北に通じる道路の整備が必要。南側には行政機関やショッピングセンター等が存在する。(④⑤グループ) ○区バス、Qバスの利用について、住民に意見を聞かないで当初からの路線を運行しているため、利用者が少ないのでは。(④⑤グループ)
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後何をして行ったら良いか

- 新新バイパス(亀貝)から402号線までの寺尾線の改善(交通量の変化に応じた対応)が必要。
- タクシーとの連携、デマンドバスの検討。
- バス等の運行における高速道路の利用拡大推進。
- バス路線の再編で農村部の充実を实施してもらいたい。
- バス路線再編は各地域の核となる地区を設定し、そこまでは最低でも乗りかえなしに行ける様に(内野他)
- コミュニティバスなどの地域公共交通に小型バスの導入。

- バス、タクシー、JR、パークアンドライドなど繋がる交通体系が必要。
 - 補助金で不採算路線を支えるのではなく、営業路線と不採算路線を分離し、不採算路線は公等で対応。
 - 交通の電鉄跡地を早急に新潟・寺泊線(大野)まで行ってほしい。
 - 越後線の増便は通勤・通学等の往復に連絡したような形に。
 - BRT導入を含めた地域の公共交通の充実を目指す。改善プラン作りに自治協もがんばる必要がある。(②グループ)
 - 越後線の主要駅を基点としたバス発着が必要。(小針、大学前、内野等)(④⑤グループ)
 - 地域ごとに問題が異なると思われるので、各コミ協、地域からの問題を抽出し、今後に活かしてほしい。(④⑤グループ)
-